



2022 「これでいいのか小中一貫教育、 許すな学校統廃合」大阪交流集会

◆基調報告「府下各自治体の小中一貫教育・学校統廃合調査の報告と対抗軸」（研究会より）

◆特別報告

住民と教職員が共同して取り組む統廃合反対の運動
（交野市、岸和田市など）

◆参加者から各地の実態報告と対抗軸を明らかにする

日時：3月27日（日）午後1時30分～

会場：大阪府教育会館

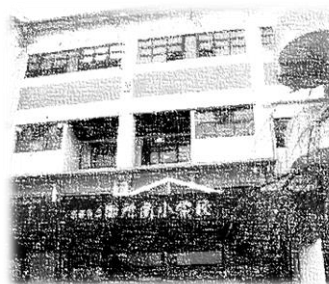
（たかつガーデン）3F「カトレア」

アクセス：地下鉄谷町線「谷町九丁目」下車、東へ徒歩8分

地下鉄千日前線「鶴橋」下車、西へ徒歩10分

近鉄「上本町」駅下車、北へ5分

資料代 500円（教文センターサポーターは無料です）どなたでも参加できます



お問合せ 「学校統廃合・小中一貫教育」研究会 06-6768-5773（大阪教育文化センター）へ

2016年の法制化から6年、全国各地で小中一貫校が建設され、地域の小・中学校が統廃合されています。導入の理由とされた「中1ギャップ」論は破綻し、もっぱら小規模校解消、切磋琢磨、授業改善などの新たな理由を持ち出して進めようとしているのが特徴です。しかし、小中一貫校では、不登校の増加や、型にはめた学校運営の押し付け、6年生の発達の課題の顕在化、小中一貫教育と矛盾する中学受験による中抜け、などの課題が表面化しています。

当初、文科省主導ですすめられてきた小中一貫教育はその後、官邸主導の「自治体戦略2040」路線の一環へとその様相を変えてきています。少子化・人口減少を口実に地方再編と公共施設の縮小をデジタル化とともに押しすすめて国のあり方そのものを財界の求める方向へと変えていくことをねらっています。

府下各地の状況を交流し、すぐれた運動の教訓に学び、新しい時代の学校と地域のあり方を考えていきましょう。

